



2023年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年4月26日

上場会社名 フューチャー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4722 URL <https://www.future.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 金丸 恭文
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 松下 恭和 TEL 03-5740-5724
 四半期報告書提出予定日 2023年5月12日
 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第1四半期の連結業績（2023年1月1日～2023年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第1四半期	13,965	10.8	3,172	△5.0	2,191	△8.2
2022年12月期第1四半期	12,605	13.7	3,341	96.2	2,386	92.0

(注) 包括利益 2023年12月期第1四半期 2,742百万円 (236.8%) 2022年12月期第1四半期 814百万円 (565.2%)

	1株当たり四半期純利益
	円 銭
2023年12月期第1四半期	24.74
2022年12月期第1四半期	26.96

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年12月期第1四半期	59,807	45,798	76.6	517.17
2022年12月期	57,857	44,827	77.5	506.20

(参考) 自己資本 2023年12月期第1四半期 45,798百万円 2022年12月期 44,827百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	17.00	—	20.00	37.00
2023年12月期	—				
2023年12月期（予想）		20.00	—	20.00	40.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年12月期の連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	28,300	9.1	6,600	6.2	4,620	2.3	52.17
通期	59,500	10.7	13,800	12.8	9,660	4.6	109.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 - ② ①以外の会計方針の変更：無
 - ③ 会計上の見積りの変更：無
 - ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期 1 Q	95,328,000株	2022年12月期	95,328,000株
② 期末自己株式数	2023年12月期 1 Q	6,771,952株	2022年12月期	6,771,952株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期 1 Q	88,556,048株	2022年12月期 1 Q	88,526,522株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
経営成績に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	9
受注の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における経済環境をみると、不安定な世界情勢、インフレーションの進行及び海外金利の上昇といった経済環境の中でも、企業のDX（デジタルトランスフォーメーション）や業務改革、新たなデジタルサービス開発といったITを通じた経営改革への取組みは引き続き旺盛です。また、働き方改革関連法の施行等に伴う、従業員の働き方及び企業全体のサプライチェーンの見直しや、ESG・SDGs関連分野におけるITの活用も加速しており、あらゆる業種や領域においてIT投資が活発化しています。個人においては、ECサイト経由での購買、動画やオンラインを活用した娯楽やスポーツ観戦、ネットサービス上での教育、自己啓発など、ITの利用が定着し、これらに関連した様々なサービスが生まれています。

このような状況下、当社においては多種多様な顧客から案件を獲得したことに加え、中長期的な成長に資する大型プロジェクトが進行した結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は13,965百万円（前年同期比10.8%増）、一部の大型プロジェクトにおいて設計段階で品質向上のためのコストが計画より多く生じたことなどから営業利益は3,172百万円（同5.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,191百万円（同8.2%減）となりました。

各セグメントの業績（売上高・営業利益）については以下のとおりです。

① ITコンサルティング&サービス事業

フューチャーアーキテクト株式会社（フューチャー株式会社のテクノロジー部門を含む）は、小売業の調達・製造・品質管理を一貫してデータ管理するプラットフォームの設計、アパレル業の基幹システムの刷新、新聞社グループのDX推進のグランドデザイン等を新たに受注・開始いたしました。その他、食品卸や公共サービス業における基幹システム、ITインフラの刷新に係る設計・開発を行う等、引き続き多種多様な顧客の案件を推進いたしました。これらに加え、当社の中長期的な成長に資するプロジェクトである地域金融機関向け次世代バンキングシステム導入プロジェクト、融資支援システム「FutureBANK」の新規2行における稼働開始、その他物流業をはじめとした多くの企業向けのDX支援が順調に進行いたしました。一方で、一部の大型プロジェクトにおいて設計段階で品質向上のためのコストが計画より多く発生したこと、研究開発投資を行ったことなどから、前年同期比で増収減益となりました。

フューチャーインスペース株式会社は、定常的な保守運用サービスに加え、既存顧客システムのシステム基盤更改及びクラウド移行案件の開発が好調に推移し、前年同期比で増収増益となりました。

FutureOne株式会社は、強みであるオリジナルのパッケージソフトウェア「InfiniOne」の販売において、鉄鋼業界など業界特化型の営業展開による受注拡大により、前年同期比で増収増益となりました。

株式会社ワイ・ディ・シーは製造業を中心とした新規の顧客開拓及び既存顧客への深堀、拡大が順調に推移し、これら従来のSIに加えて、基幹システム刷新やSmartFactory構想のグランドデザインコンサルといった上流ビジネスからの展開が増加しました。更には「YDC SONAR®」のライセンス販売の増加などもあり、前年同期比で増収増益となりました。

株式会社ディアイティは、脆弱性診断、インシデント対応、ネットワークセキュリティソリューションなど、サイバーセキュリティ関連のサービスの受注が想定より伸びず、外部委託費用の増加等により、前年同期比で減収減益となりました。

この結果、本セグメントの売上高は12,243百万円（前年同期比12.5%増）、営業利益は3,381百万円（同3.5%減）となり、増収減益となりました。

② ビジネスイノベーション事業

株式会社YOCABITOは、アパレルが好調に推移した一方で、アウトドアについては引き続き市場の競争が激しく販売が苦戦し、また、原価高騰などもあり、前年同期比で減収減益となりました。

東京カレンダー株式会社は、雑誌販売、広告売上、「東カレデート」等のネットサービス収入が堅調に推移したものの、新サービス「グルカレ」の立ち上げに係る費用が発生したことから、前年同期比で増収減益となりました。

コードキャンプ株式会社は、当年度の第2四半期以降に開始する法人向け受注が大きく伸長したものの、個人向けの受注は競合他社の参入を背景に減少したことから、前年同期比で減収減益となりました。

ライブリッツ株式会社は、スポーツチーム向けの会員管理・ECパッケージ「F a s t B i z」について、地方自治体の住民向けサービスや企業間サブスクリプションビジネスへの提供を開始したことなどから、前年同期比で増収増益となりました。

この結果、本セグメントの売上高は1,732百万円（前年同期比2.3%減）、営業損失は173百万円（前年同期は67百万円の損失）となり、前年同期比で減収減益となりました。

（注）上記のセグメントの業績数値は、セグメント間の内部売上高又は振替高を調整前の金額で記載しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,652	24,875
受取手形、売掛金及び契約資産	8,549	8,971
有価証券	1,000	1,100
商品及び製品	1,116	1,263
仕掛品	22	20
その他	1,498	3,604
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	38,835	39,831
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,815	1,817
減価償却累計額	△1,142	△1,171
建物及び構築物（純額）	673	646
土地	0	0
その他	3,107	3,188
減価償却累計額	△2,703	△2,757
その他（純額）	404	431
有形固定資産合計	1,078	1,078
無形固定資産		
のれん	661	627
ソフトウェア	2,992	3,209
その他	5	4
無形固定資産合計	3,659	3,841
投資その他の資産		
投資有価証券	12,856	13,633
敷金及び保証金	1,188	1,185
繰延税金資産	—	15
その他	244	225
貸倒引当金	△4	△3
投資その他の資産合計	14,284	15,055
固定資産合計	19,022	19,975
資産合計	57,857	59,807

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,067	1,498
未払金	1,810	1,118
未払法人税等	2,280	1,293
賞与引当金	250	1,242
品質保証引当金	60	65
プロジェクト損失引当金	37	17
その他	4,354	5,628
流動負債合計	9,860	10,863
固定負債		
資産除去債務	356	356
繰延税金負債	2,682	2,648
その他	130	139
固定負債合計	3,169	3,145
負債合計	13,030	14,008
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,000	4,000
資本剰余金	37	37
利益剰余金	35,856	36,276
自己株式	△2,210	△2,210
株主資本合計	37,683	38,103
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,123	7,663
繰延ヘッジ損益	△5	△1
為替換算調整勘定	25	32
その他の包括利益累計額合計	7,143	7,695
純資産合計	44,827	45,798
負債純資産合計	57,857	59,807

（2）四半期連結損益及び包括利益計算書
（第1四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2022年1月1日 至 2022年3月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2023年1月1日 至 2023年3月31日）
売上高	12,605	13,965
売上原価	6,261	7,315
売上総利益	6,344	6,650
販売費及び一般管理費		
役員報酬	133	143
給料及び賞与	1,425	1,534
雑給	72	72
地代家賃	239	230
研修費	78	61
研究開発費	165	338
減価償却費	102	56
採用費	150	190
のれん償却額	2	34
その他	633	813
販売費及び一般管理費合計	3,003	3,477
営業利益	3,341	3,172
営業外収益		
持分法による投資利益	18	10
その他	7	8
営業外収益合計	26	18
営業外費用		
投資事業組合運用損	—	15
その他	0	0
営業外費用合計	0	16
経常利益	3,367	3,175
特別利益		
投資有価証券売却益	42	—
特別利益合計	42	—
税金等調整前四半期純利益	3,409	3,175
法人税、住民税及び事業税	1,336	1,268
法人税等調整額	△313	△283
法人税等	1,022	984
四半期純利益	2,386	2,191
（内訳）		
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,386	2,191

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2022年1月1日 至 2022年3月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2023年1月1日 至 2023年3月31日）
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,579	540
繰延ヘッジ損益	2	4
為替換算調整勘定	4	7
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△0
その他の包括利益合計	△1,572	551
四半期包括利益	814	2,742
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	814	2,742
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2022年1月1日 至 2022年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 財務諸表 計上額 (注3)
	ITコンサル ティング& サービス事業	ビジネスイノ ベーション 事業	計				
売上高							
(1)外部顧客への 売上高	10,833	1,765	12,598	7	12,605	—	12,605
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	48	9	58	81	139	△139	—
計	10,882	1,774	12,656	88	12,745	△139	12,605
セグメント利益 又は損失(△)	3,505	△67	3,437	△14	3,422	△81	3,341

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、有価証券投資・保有・運用事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引の消去及び持株会社（テクノロジー部門を除く）の収益並びに費用の額であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2023年1月1日 至 2023年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 財務諸表 計上額 (注3)
	ITコンサル ティング& サービス事業	ビジネスイノ ベーション 事業	計				
売上高							
(1)外部顧客への 売上高	12,231	1,710	13,941	23	13,965	—	13,965
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	12	22	34	97	131	△131	—
計	12,243	1,732	13,976	120	14,097	△131	13,965
セグメント利益 又は損失(△)	3,381	△173	3,208	△31	3,177	△4	3,172

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、有価証券投資・保有・運用事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引の消去及び持株会社（テクノロジー部門を除く）の収益並びに費用の額であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

受注の状況

（単位：百万円）

区分	前第1四半期連結累計期間 （自 2022年1月1日 至 2022年3月31日）		当第1四半期連結累計期間 （自 2023年1月1日 至 2023年3月31日）	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高
ITコンサルティング&サービス事業	12,508	13,311	14,415	16,290
ビジネスイノベーション事業	697	439	721	767
合計	13,206	13,750	15,137	17,058

区分	前第4四半期連結会計期間 （自 2022年10月1日 至 2022年12月31日）		当第1四半期連結会計期間 （自 2023年1月1日 至 2023年3月31日）	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高
ITコンサルティング&サービス事業	10,051	14,106	14,415	16,290
ビジネスイノベーション事業	1,182	703	721	767
合計	11,233	14,809	15,137	17,058